



発行所
公益財団法人 漁船海難遺児育英会
〒101-0047 東京都千代田区
内神田1丁目2番1号
ダコタハウス5階
電話 03 (3518) 6121
FAX 03 (3518) 6122
E-mail: mizuuro.ikuei@eos.ocn.ne.jp
水色の羽根募金運動



漁船海難遺児を励ます全国協議会会長
公益財団法人 漁船海難遺児育英会副理事長
岸 宏

就任のご挨拶

本年6月のJF全漁連総会におきまして代表理事会長に就任後、漁船海難遺児を励ます全国協議会(全協協)会長ならびに漁船海難遺児育英会副理事長に就任いたしました岸宏でございます。

就任に際しまして、ご支援いただいております皆さま方へ、一言ご挨拶申し上げます。

まず、全協協の会長といたしましては、今後とも、育英事業への支援活動を通じて、JFグループが社会へ貢献する活動として継続して参りますこととお誓い申し上げます。

次に、育英会の副理事長といたしましては、非力ながら鈴木理事長をお支えしますとともに、育英制度の周知ならびに育英事業の充実を図ってまいりたいと思っておりますので、引き続き、皆さま方のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

さて、2011年3月11日の東日本大震災の発生後、JFグループは、「JFグループ東北地方太平洋沖地震漁業・漁村災害・復興対策本部」を直ちに立ち上げ、被災地域の漁業者、漁協等を幅広く

むすびに、被災地域の漁業、漁村のさらなる復興・再生をご祈念申し上げますとともに、操業の安全ならびに皆さま方のご多幸を祈念申し上げます。ご挨拶いたします。

最後に、ご挨拶いたしますが、奨学生のみなさんは、今も学業やスポーツそして家のお手伝い等、元気に励んでいられると思いますが、みなさんには育英事業を支える応援団がいることを忘れずに、これから学業、スポーツに励んで下さい。

本会理事長の復職ならびに理事長職務代行の廃職について

9月30日、本会理事長・鈴木俊一が外務副大臣を辞任致しました。このことに伴い、本会では副大臣就任時より「政務三役規範(平成13年閣議決定)」により、休職扱いとしておりました。10月1日付で本会理事長を復職扱いと致します。

また、副理事長・岸宏を理事長職務代行としておりましたが、理事長職務代行については、廃職扱いと致します。

2013年度決議の省略の方法による第3回理事会

7月9日(同意日)、『2013年度第3回理事会』を書面決議により、以下の提案について同意を求めました。①第2回評議員会の招集の決定②辞任に伴う理事候補者(4名)の推薦について、③辞任に伴う評議員候補者(5名)の推薦について審議され、いずれも全員の同意確認を得、承認可決されました。

2013年度決議の省略の方法による第2回評議員会

7月17日(同意日)、『2013



事務担当者合同会議

9月13日、コープビル「JF全漁連大会議室」(東京都千代田区)において、漁船海難遺児を励ます全国協議会ならびに本会主催による「漁船海難遺児を励ます地方協議会・育英会事務担当者合同会議」を開催しました。

全水商連 第60回全国記念大会

7月14日、品川プリンスホテル(東京・品川区)において、全国各地の水産物小売商関係者約600人が一同に会し、『全水商連第60回全国(東京)記念大会』(全国水産物商業協同組合連合会主催)が盛大に開催されました。

◆今回をもって辞任された皆さまには、これまでのご尽力に改めて感謝申し上げます。

2013年度 第2回奨学生選考委員会

7月23日、『2013年度第2回奨学生選考委員会』が開催され、「第2回奨学生出願者(7月15日締切)の選考」について審議されました。この結果、学資給与奨学生として小学生2人、高校生等1人の合計3人が採用されました。なお、新規奨学生を加えた9月15日現在の奨学生数は、別表「都道府県別奨学生数」とおりです。

2013年度第4回理事会

7月24日、『2013年度第4回

第19回 全国青年漁業者グループリーダー研究集会

6月28日、青年漁業者リーダーの資質向上を図ることを目的とした『第19回全国青年漁業者グループリーダー研究集会』(JF全漁連主催)が、東京都千代田区のコ

プビルにて開催されました。研究集会終了後、漁船海難遺児を励ます全国協議会より、本年4月から実施されている「第9期募金運動」について報告をしたところ、急きよ、JF全国漁連会長、同副会長より募金の呼び掛けがあり、その場にいらした皆さまでから多大なご支援を賜ることができました。



第8回マリンカップ 海難遺児チャリティコンペ

7月27日、『第8回マリンカップ海難遺児チャリティコンペ』が、今年も三重県・津カントリー倶楽部に開催されました。

NPO法人「朝光クラブ」(代表・朝香誠彦理事長)が主催するこの大会は、海の事故で父兄を亡くした子供たちを応援しようと、毎年「海の日」を記念し行われていま

す。当日は、大会趣旨に賛同されたTCC(津カントリー倶楽部)メンバーをはじめとする160人ものゴルフアがプレーに参加されたほか、地元小学校と特別支援学校の子供たち計70人が会場に招待され、鳥羽水族館・古田正美館長による環境教育と魚をテーマとしたトークショーや津高虎太鼓「津打の会」の演奏、スナックゴルフなどを楽しみました。

また、お昼には、JF三重漁連ならびに三重県漁協女性部連合会の皆さん手作りの美味しい郷土漁

師料理も振る舞われ、大会は大盛況のうちに幕を閉じました。

コンペ終了後の表彰式で寄附金の目録を受け取った鈴木本会専務理事は、「皆さま方のご趣旨に添い、海難遺児の育英事業のために活用させていただきたい」と述べ、朝香誠彦理事長に感謝状を贈りました。

大会にご支援くださった多くの皆さまに心よりお礼申し上げます。



▶表彰の様子。左が朝香理事長。(写真提供 津カントリー倶楽部)

2013ふれあい旅行

本会普及指導事業の1つである奨学生・保護者交流活動『2013ふれあい旅行』が、7月26日から2泊3日の日程で開催されました。

この活動は、①体験活動を通じて子供達が「友情の輪を広げ」、かつ「生きる力」を学ぶ場を提供すること、②保護者間の交流の場を提供すること、③親子で貴重な時間と体験を共有することで、さらに家族の絆を深めることを目的として、2010年度より実施しております。3回目となる今年度は、全国から募集した奨学生(小3・中1)とその保護者9組18人を招待し、世界文化遺産登録で話題沸騰の富士山および山中湖周辺を巡りました。

今回は、リピーターの方が多かったこともあり、子供たちも保護者の皆さんもすぐに打ち解け、3日間とても仲良く過ごされました。残念ながら、旅行中は富士山にずっと雲がかかっていましたが、その雄大な姿を間近で拝むことはできませんでした。大きな事故もなく、参加者・スタッフともに笑顔で終了することができました。

【参加者数】

18人(奨学生9人/保護者9人)
7人(ワンパク大学3人/全助)



協(JF全漁連) 職員1人/本会職員3人
山中湖畔 ホテル清溪

【グッズ提供】

- ・JF全国女性連(バンダナほか)
- ・JF共水連(お菓子ほか)
- ・(一財)中央漁業操業安全協会(アイスほか)

【日程】

- 7月26日(1日目)
 - ・集合・結団式、ふれあいタイム
 - ・山中湖 花の都公園を散策
 - ・ナイトプログラム
- 7月27日(2日目)
 - ・富士山五合目を散策
 - ・西湖 コウモリ穴および青木ヶ原樹海の探検
 - ・自然物を使ったクラフトの作成
 - ・バーベキュー
 - ・子供たちはナイトプログラム、保護者は懇親会
- 7月28日(3日目)
 - ・山中湖にて水陸両用バス「カバ号」乗車
 - ・解散式

ふれあい旅行に参加された皆さまからの感想文を一部抜粋して紹介させていただきます。

奨学生

＊わたしがいちばんのしかなかったことはカバ号にのったことです。みずうみにはいるしゅんかんがこわいっておもったけど、とてもふしぎなかんじがしました。(中略)

またみんなにあえたらいいなと思います。(宮城県 小3 H・N)

＊西湖コウモリ穴に入ったら、狭くて頭がいっぱい天井にぶつかってしまいました。だけど、とても楽しかったです。ホテルに帰ってから、自然物クラフトをやって、写真入りに葉っぱや松ボックリなどをボンドではってデコりました。みんな楽しく作れたので良かったです。(中略) 本当は、もっとみんなといっぱい仲良く過ごしたかったです。来年も行きたいし、楽しみにしています。

＊ワンパク大学のスタッフのみなさんがおもしろくて、いろんなことを教えてくれました。コウモリ穴のどうくつのこと、コウモリのこと、ふじ山のこと、いっしょにおふろに入ってくれたり、お肉をやってくれたり、夜ねるまでいっしょにいてくれました。お兄さん、お姉さんとも仲よくなつてうれしかったです。(中略) 夏休みの一番の思い出になりました。お世話になった人たちに、かんしゃしています。ありがとうございます。

(福岡県 小3 K・M)

＊2日目の富士山で、びっくりしたことがいっぱいありました。それは、1つの場所だけ草木がなかったり、寒かったり、お菓子の

ふくらがパンパンになったことです。それよりもすごかったことが、木の「はが木」で自分に手紙を出したことです！それで自分も来年、こんな風な「はが木」を作ってみたいなと思っています。3日目のわかれはつらかったけれど、この「2013ふれあい旅行」は、今でも楽しい思い出です。

(長崎県 小4 K・F)

＊今回の旅行では、富士山周辺の旅ということでワクワクしていましたが、1番楽しみにしていたことは、また友達に会えることでした。少し前まで赤の他人だった人たちを友達と呼べる関係になった、それに二度と会えるかわからなかったのにまた会える、それだけでも嬉しかったです。この旅行に参加している人たちはみんな家族である大事なお父さんを亡くしています。それでも懸命に生きて、この旅行で会えた奇跡はとてものです。輝いていると思います。みんな共通点があったからこそ、ここまで仲良くなれたと思います。ホテルでも、富士山でも、カバ号の中でも、みんな楽しく話したり、遊んだりできたことが1番の思い出です。(中略) いろいろな場所から、それぞれの思いを胸に集まった最高の仲間、友達という範囲ではとても収まらない、ただ1つの僕の家族であり、宝物です。

(長崎県 中1 Y・H)

＊2日目は、メインの富士山の五合目を散策しました。思った以上に大きくて寒かったです。みんなで集合写真をとった場所は、しゃ面が急で、今にも足がすべり落ちそうぐらいでこわかったです。富士山の五合目を散策した後は、昼食で山梨名物のほうとうを

食べました。私はテレビで見たこととはあるけど、本当に食べたことは無かったので楽しみでした。意外にモチモチしていて、うどんのめんもテレビで見たよりも太くってびっくりしました。すぐおいしかったです。〔中略〕小学校生活最後のふれあい旅行だったけど、思いうがいっぱい作れて良かったです。

〔鹿児島県 小6 S・T〕
*ぼくが、1番ふれあい旅行で楽しかったことは、メインの富士山にバスで登ったことです。少し寒かったです。おみあげもたくさん買いました。2番目に楽しかったことは、コウモリ穴です。最初は、コウモリがいるのかなあ、見れるのかなあと思ってたけど、見れなかったのがざんねんです。でも、富士山の五合目より寒かったです。すごく暗くて、より楽しかったです。

〔小6 匿名希望〕
*ふれあい旅行に昨年、今年と参加し、とても楽しい時間を過ごさせていただきました。初めは緊張していた娘も皆さんと仲良くなり、子供同士で手を繋ぎ楽しそうに笑顔でいる姿を見て、参加して良かったと思いました。私も心の何処かにあった嫌なことも、皆さまで語り合うことでスッキリし、旅行の間は忘れられました。〔中略〕一年に一度の贅沢な思いをさせていただき、本当にありがとうございました。

保護者

〔宮城県 K・O〕

*ふれあい旅行に参加させていだいて、親子共々とても楽しい時間を過ごすことができました。〔中略〕ふだんの生活ではあまり見られない、生き生きとした子どもの姿を見ることができ、また、一緒に

に参加されていた年上のお兄さん、お姉さんに手をつないで一緒に歩いてもらったり、いろいろなことを教えていただいたようです。ワンパク大学のスタッフさんが子どもたちの世話をほとんどして下さったので、私は他のお母さん方とゆっくり話をすることが

にありました(笑)鹿児島と言えば、雄大な桜島が象徴ですが、日本一の富士山の五合目まで行けて、大変良い思い出になりました。火山灰も違っていて、桜島は黒い砂ですが、富士山は軽石のような形のある物で驚きました。それから、よくテレビで見ていた青木ヶ原の樹海は、とても気持ちの良い森で、生きようとしている森という説明を聞き、神秘的な感じがしました。

〔中略〕また、毎回、育英会のかたがたからの意見交換の場を設けていただいて、要望や意見など交流できるのも大変嬉しく思います。

〔鹿児島 I・T〕

*飛行機の遅れで結団式に少し遅刻した私たち親子でしたが、着くとすぐ顔見知りの子供たちやスタッフの方にハイタッチをする光景を見て、今年も参加して良かったなあと思いました。日ごろ、自分の意見等を言わないことが多い性格なのに、皆さんとふれあった3日間は、すごく楽しそうに笑っている姿を見て安心しました。昨

2013
ふれあい旅行
参加者の声



できました。私にとってすごく大切な時間であり、一生の思い出に残る出来事になりました。

〔福岡県 R・M〕

*親同士も同じような境遇ということで、日ごろ、他人に話しても「辛いね、大変ね」等、うわべだけの言葉だけではなく、心からわ

旅行に來たい」と言う子どもの気持ちを聞いて、連れて来て本当に良かったと思っています。〔中略〕

良かったと思つています。〔中略〕たくさんの方の励ましに心より御

礼申し上げます。〔長崎県 K・H〕

*今年は、世界文化遺産登録したばかりの富士山とあって、子供よ

ご寄附のお礼
2013年6月から8月までに
ご寄附を頂いた皆さまのご芳名
(敬称略) を掲げ、厚くお礼申し上げます。

励ましおじさん・おばさん

- 〔6月〕◎北海道▽加藤茂子▽本間雅彦◎岩手県▽長澤浩美◎茨城県▽常盤和己▽藤本歌子◎埼玉県▽古関和則▽小林哲朗▽佐藤明美▽田口昭博▽濱田研一▽松本安裕◎千葉県▽伊賀久則▽猪苗代健一▽齋藤雅晴▽坂口はつ子▽平田淳一▽宮澤敏彦▽若林満◎東京都▽飯島孝夫▽勝野輝美◎神奈川県▽飯島孝夫▽勝野輝美◎静岡県▽古田土満▽戸田満弘▽長屋信博▽根尾友久▽根本京子▽廣重和夫▽松井明▽向井昌子▽吉田博身▽渡辺千鶴子◎神奈川県▽越智豊子▽中村芳正▽大和陸子◎福井県▽武田忠男◎静岡県▽古寺健二◎大阪府▽角丸英子◎兵庫県▽武田佳子◎山口県▽熊谷佐枝子◎長崎県▽寺島和子
- 〔7月〕◎北海道▽加藤茂子▽本間雅彦◎岩手県▽長澤浩美◎宮城県▽鎌内浩◎茨城県▽常盤和己▽藤本歌子◎埼玉県▽小野彌▽古関和則▽小林哲朗▽佐藤明美◎志村隆司▽田口昭博▽濱田研一▽松本安裕◎千葉県▽伊賀久則▽猪苗代健一▽齋藤雅晴▽坂口はつ子▽平田淳一▽宮澤敏彦◎宮城県▽飯島孝夫▽勝野輝美◎若林満◎東京都▽飯島孝夫▽勝野輝美◎神奈川県▽飯島孝夫▽勝野輝美◎静岡県▽古田土満▽戸田満弘▽長屋信博▽根尾友久▽根本京子▽廣重和夫▽松井明▽向井昌子▽吉田博身▽渡辺千鶴子◎神奈川県▽越智豊子◎福井県▽武田忠男◎静岡県▽古寺健二◎大阪府▽角丸英子◎兵庫県▽武田佳子◎山口県▽熊谷佐枝子◎大分県▽山口英文

育英基金

- 1、漁協系統募金(各都道府県の漁連、信漁連等で構成する「漁船海難遺児を励ます地方協議会(略称:地励協)」等で取り扱った分、一般寄附を含みます。)
- 〔6月〕◎京都府▽水嶋敬次―黄綬受章記念▽和田市郎―香典返しの一部◎山口県▽荒川正治▽山口県漁協女性部連合会▽山口県漁協青壮年部連合会▽南森本商店▽地励協◎福岡県▽福岡県漁船保険組合◎長崎県▽岩井正壽―逝去に際し▽岩本光正▽長崎県漁連職員OBなぎさ会▽地励協
- 〔7月〕◎東京都▽JF全国漁青連―全国漁青連通常総会懇親会にて◎静岡県▽初島漁業協同組合婦人

部◎兵庫県▽岸憲吾―逝去に際し
◎和歌山県▽JGF Aビルフィッ
シュートナメントin串本実行委
員会▽勝浦漁協女性部▽和歌山県
漁協女性部連合会▽地協協◎大分
県▽大分県水産関係親睦ゴルフコ
ンペ▽地協協

〔8月〕◎北海道▽北海道水産ビ
ル(株)―創立50周年記念◎静岡県▽
用宗漁港まつり実行委員会◎三重
県▽特定非営利活動法人朝光クラ
ブーマリンカップ海難遺児チャリ
ティーコンペ◎愛媛県▽佐々木光
昭◎福岡県▽江上・萩島特定建設
共同企業体江上建設(株)代表者江
上義紀◎長崎県▽古井田万由美▽
江川正弘▽長崎大学鴻洋祭実行委
員会▽地協協

2、一般寄附

〔6月〕◎北海道▽釧路アポロ石
油(株)▽波間漁業(株)▽北海道漁業調
整事務所▽北海道厚岸翔洋高等学
校▽北冷蔵(株)◎青森県▽マルヌ
シ▽青森海上保安部◎岩手県▽(株)
日本政策金融公庫盛岡支店▽宮古
海上保安署◎宮城県▽カネコ橋
沼商店▽気仙沼ほてい(株)▽気仙沼
海上保安署▽熊栄産業(株)▽仙台漁
業調整事務所「碧波会」▽大興水
産(株)▽翔洋船舶(株)◎福島県▽水野
水産(株)◎茨城県▽藤村◎埼玉県
▽小野沢通◎千葉県▽極東オイル
(株)▽千葉県農林水産部水産局水産
課▽飯村久子▽協同水産流通(株)◎
東京都▽(一社)水産土木建設技
術センター▽(株)航洋代表取締役竹
前康世▽亀田静枝▽(公社)日本海
難防止協会▽若井克友▽新法律事
務所▽東京北魚(株)▽農水産業協同
組合貯金保険機構▽(有)ティー・ケ
イコーポレーション代表取締役竹
前康世▽第64回浅海増殖研究発表

全国大会募金◎神奈川県▽(株)水産
総合研究センター中央水産研究所
横浜庁舎▽久保田化工機(株)▽神奈
川県庁環境農政部水産課◎新潟県
▽山津水産(株)▽新潟県庁農林水産
部◎富山県▽JFくろろべ▽(株)日本
政策金融公庫富山支店◎山梨県▽
山梨中央水産(株)◎静岡県▽(株)水産
総合研究センター増養殖研究所南
伊豆庁舎▽魚市静岡魚市(株)▽極洋
水産(株)▽静岡県庁経済産業部水産
業局▽(有)藤丸代表取締役藤ヶ谷松
男◎愛知県▽国土交通省中部運輸
局◎三重県▽三重県農林水産部水
産資源課◎京都府▽(株)水産総合研
究センター日本海区水産研究所宮
津庁舎▽大京魚類(株)◎兵庫県▽(株)
日本政策金融公庫神戸支店▽神戸
水産物小売協同組合◎奈良県▽辻
元正夫◎鳥取県▽(株)日本政策金融
公庫鳥取支店▽共和水産(株)▽浜野
茂夫◎島根県▽島根県庁農林水産
部水産課◎岡山県▽海洋建設(株)◎
広島県▽広島県商協同組合青年部
◎徳島県▽徳島県庁農林水産部水
産課◎香川県▽香川県農政水産部
水産課▽片山貴士◎福岡県▽九州
大学農学部水産学科水産研究所教
職員親睦会◎佐賀県▽(株)唐津魚市
場◎長崎県▽まるの漁業(株)▽(株)沖
新船舶工業◎熊本県▽(株)日本政策
金融公庫熊本支店◎大分県▽(株)佐
伯魚市場▽大分県市(株)▽大分県農
林水産部水産振興課▽大分水産(株)
◎宮崎県▽宮崎県庁農政水産部◎
鹿児島県▽(株)日本政策金融公庫鹿
児島支店▽鹿児島県庁商工労働水
産部▽富元小松

〔7月〕◎北海道▽(株)水産総合研
究センター北海道区水産研究所釧
路庁舎◎青森県▽青森県立八戸水
産高等学校▽八戸海上保安部◎岩
手県▽三陸沿岸芸能振興会◎宮城

都道府県別奨学生数

(2013年9月15日現在/単位:人)

都道府県名	給与奨学生					貸与奨学生	合計	2013年度第2回採用者					合計
	幼児	小学生	中学生	高校生等	小計			幼児	小学生	中学生	高校生等	大学生等	
北海道	2	6	7	15	30	8	38		2		1		3
青森		1	2	7	10	1	11						
岩手	1	10	8	10	29		29						
宮城	3	8	11	15	37	1	38						
秋田													
山形				1	1		1						
福島	2	15	6	4	27		27						
茨城													
千葉	2	2	3	1	8	5	13						
東京			2		2	1	3						
神奈川	2	1	2		5	1	6						
新潟		1	1		2		2						
富山													
石川			3	1	4		4						
静岡				2	2	1	3						
愛知													
福井				2	2		2						
三重													
京都				1	1		1						
大阪													
兵庫			2	4	6	1	7						
和歌山	1	1			2		2						
鳥取			1	1	2		2						
島根				1	1		1						
岡山			1	1	2		2						
広島		1			1		1						
山口			1	3	4	2	6						
徳島				1	1	1	2						
香川			1	2	3		3						
愛媛	1	2	2	3	8	2	10						
高知						3	3						
福岡		1		2	3	1	4						
福岡有明海		1	2		3		3						
佐賀玄海		3	2		5		5						
佐賀有明海													
長崎	1	5	3	5	14		14						
大分			1	1	2		2						
熊本		4			4		4						
宮崎		2	3	2	7	1	8						
鹿児島		4	3	4	11		11						
沖縄		1	3	3	7	3	10						
合計	15	69	68	94	246	32	278		2		1		3

*給与奨学生には特別支援学生を含む。
*貸与奨学生には入学一時金のみの奨学生を含む。
*休学中の奨学生は人数に含まない。
*2013年度第2回採用者は内数である。

県▽大慶漁業(株)代表取締役尾形慶
悦◎山形県▽(株)日本政策金融公庫
山形支店▽酒田海上保安部◎茨城
県▽茨城県庁農林水産部漁政課・
水産振興課◎栃木県▽(株)日本政策
金融公庫宇都宮支店◎群馬県▽(株)
日本政策金融公庫前橋支店◎埼玉
県▽小野沢通◎千葉県▽飯村久子
◎東京都▽(一財)漁港漁場漁村技
術研究所▽榎本みつ枝▽全国水産
物商業協同組合連合会―第60回全
国(東京)記念大会にて▽長屋典
子▽チャリティーコンサート収益
金▽東京岩水会◎新潟県▽新潟漁
業調整事務所▽盛勝水産(株)◎兵庫
県▽阪神低温(株)代表取締役社長蓮
沼俊一▽瀬戸内海漁業調整事務所
◎奈良県▽国土交通省近畿運輸局
奈良運輸支局◎鳥取県▽浜野茂夫
◎岡山県▽岡山県漁船保険組合◎

広島県▽(株)水産総合研究センター
瀬戸内海区水産研究所廿日市庁舎
▽広島県商協同組合青年部―全水
商連第60回全国(東京)記念大会
にて▽笹野理絵子▽渡部修司◎山
口県▽浦部久幸◎高知県▽大熊水
産(株)◎福岡県▽福岡県庁農林水産
部水産局▽福岡水産物商業協同組
合―全水商連第60回全国(東京)
記念大会にて◎佐賀県▽ユウシー
ド東洋(株)◎長崎県▽(株)水産総合研
究センター西海区水産研究所長崎
庁舎▽長崎県水産部◎鹿児島県▽
富元小松▽富元典嗣◎沖縄県▽沖
縄県庁農林水産部水産課◎その他
▽ナカジョウウミツコ

協会―全日海東北地方支部經由◎
埼玉県▽小野沢通◎千葉県▽全国
漁業協同組合学校▽飯村久子◎東
京都▽石崎三輪子▽東京築地中央
市場福祉報徳会▽潮待茶屋企業組
合▽買荷保管企業組合◎神奈川県
▽山中政志◎新潟県▽(株)水産総合
研究センター日本海区水産研究所
新潟庁舎◎山梨県▽佐藤一江◎静
岡県▽(株)水産総合研究センター国
際水産資源研究所清水庁舎◎鳥取
県▽浜野茂夫◎島根県▽カツベヒ
ロミ◎広島県▽(株)日本政策金融公
庫広島支店◎福岡県▽九州漁業調
整事務所◎鹿児島県▽富元小松◎
その他▽ナカジョウウミツコ

※寄附金は、全て公益目的事業である
漁船海難遺児等に対する修学助成事
業に使用させていただきます。



編集後記

▼この夏も「ふれあい旅行」に同
行させていただき、参加者の皆さ
んと楽しい思い出をたくさん作る
ことができました。そんな中、元
本会職員のK氏が、八ヶ岳方面へ
旅行に行かれた際、第1回目の「ふ
れあい旅行」で参加者の皆さんが
植樹した「ミズナラの木」の写真
を撮ってきてくださいました。本
会奨学生の子供たちもこの木のよ
うに、のびのびと元気に育つこと
を祈ります。